

5 - 15 森～御前崎間の重力変化

Change of Gravity in the Region between Mori and Omaezaki

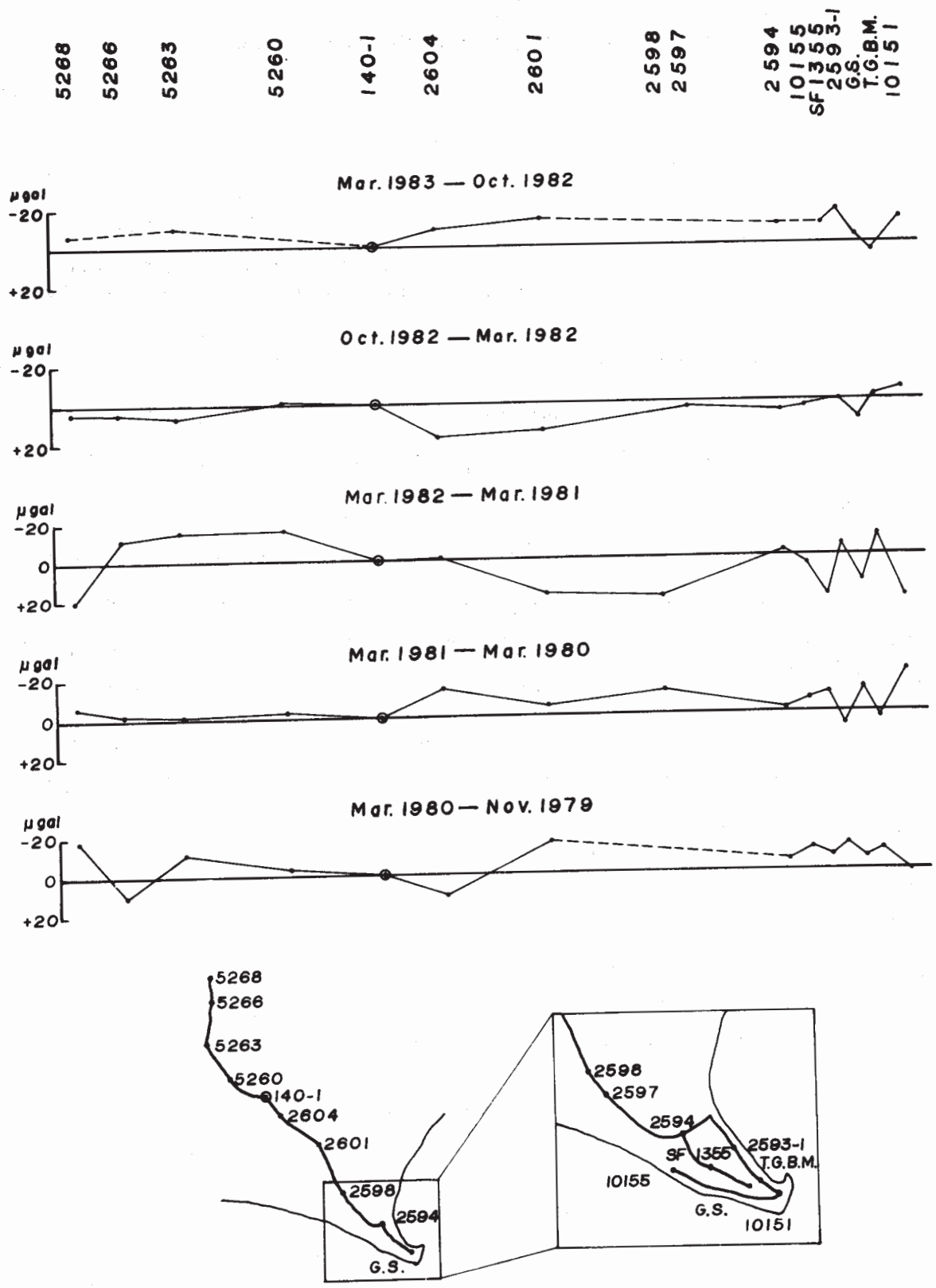
京都大学 理 学 部

東京大学 地震研究所

Faculty of Science, Kyoto University
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1983年3月、森～御前崎間の水準路線において、第10回の重力の精密測定を実施した。使用した重力計は、前回と同様に3台のLaCoste重力計である。従来測定を行っていた15の水準点の中で、5266, 5260, 2597及び10155の4点では、降雨による測定条件の悪化により、今回は測定を断念した。

第1図は、掛川の水準点140-1、(図の◎印の点)の重力値を不変と仮定して、第5回測定(1979年11月)以後の各水準点の重力変化を示したものである。今回の測定結果と前回の測定結果を比較すると、細部はともかくとして、大勢において変化グラフのパターンが丁度逆向きになっていることが特徴的である。水準に季節変化があれば、重力にも当然季節変化が観測されるはずであり、図の変化グラフのパターンが逆向きになっているのはそれによるものと解釈されるが、このことについては次回以降の測定結果を待ってさらに検討したい。季節変化と思われるもののほかには、特に著しい変化は認められない。



第 1 図 森～御前崎間の重力変化, ◎印の水準点の重力値を不変と仮定している。

Fig. 1 Change of gravity in the region between Mori and Omaezaki. Gravity value at the bench mark ◎ is assumed as invariable during the period.